

## 若松公民館の第76回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について

この度、若松公民館が文部科学大臣表彰「第76回全国優良公民館表彰」を受けましたので報告します。

### 1 表彰の趣旨

全国の公民館などの社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として、文部科学大臣が表彰しています。（昭和23年度から実施、今回で76回目）

### 2 被表彰館数

69館（千葉県内は1館）

### 3 表彰日

令和6年2月9日（金）

### 4 被表彰館名

千葉市立若松公民館

### 5 被表彰に至った経緯

地域の実情に応じ、地域住民の学習活動の支援や地域の問題解決に資するため、積極的に現代的な学習テーマや取り組み内容について、学習内容を深めるための取り組み手法により、多様な利用者の参加促進のための学習環境の整備に取り組み、かつ事業の成果等について自己点検・自己評価を行っている実績が評価されました。

#### （1）背景

近年、公民館で活発に活動していたサークルが高齢化を理由に解散するなど、地域における学びの場の減少、地域のつながりの希薄化が危惧されています。

市民にとって一番身近な公共施設である公民館が、魅力ある街づくりのために、異世代交流や次世代への継承に関わる事業に取り組む必要があると考え、取り組みを進めています。

#### （2）主な取り組み内容

「坂月川親子生き物教室」は、坂月川の美化活動や保全活動を行う「坂月川愛好会」と連携し令和元年度から開催しています。公民館は「生きがい作り」の視点で坂月川愛好会の活動を支援するとともに、講座に参加した親子が自然のすばらしさや環境保護に対する知見を深め、地域への愛着を持ってもらえるよう、毎回プログラムの見直しを行っています。

令和2年度には「子どもお菓子作りリーダー養成講座」（全6回）を開催し、また、若松公民館だよりを近隣4小・中学校の全生徒、約2,200人への配布を行うなど、公民館が子ども達にとって身近な施設となるよう努めています。

地域の学びの場の減少・つながりの希薄化を危惧し、近年は「サークルの創設を目指した連続講座」の開催や広報活動に力を入れ、公民館を利用したことのない方から講座の企画が持ち込まれるようにもなりました。

今後も、地域人材の発掘や、子どもを介した若い世代の取り込みを行うなど、公民館や地域のさらなる活性化に努めます。



坂月川親子生き物教室(オンライン発表会)



サークルの創設を目指した連続講座(ハーブ教室)